

地域まるごと産直交流会

6月3日、薩摩地区で「地域まるごと産直交流会」が開催されました。

これは、JAさつま、生活協同組合コープかごしまと県経済連が「地域産直・協同組合間の提携」という新しいスタイルで、南高梅やお茶、豚の生産者と消費者が交流しようと思ったものです。

交流会には、鹿児島市や薩摩川内市の生協組合員約160人と生産者約40人が参加し、南高梅の収穫体験などが行われました。

梅の収穫体験では、「大きい、きれいな梅だね」と話をしながら、袋いっぱい梅を詰めていました。

昼食は、地元で生産された自慢の南高梅の入ったおにぎりや豚汁、お茶を味わい、参加者は「大変、美味しく頂きました」と旬のさつまの味を満喫されていました。

交流会では、生産者に豚の種類や米の価格、お茶の生産方法、梅の漬け方などの質問が飛び交っていました。



移動博物館がやってきた!

5月25日から28日にかけて、宮之城総合体育館で移動博物館が開催されました。

めずらしい世界の昆虫や貝がら、天然記念物などおよそ5,600点あまりが展示されたほか、さつま町にすんでいる生き物の紹介や永野金山を紹介したコーナーなども設置され、連日子どもからお年寄りまで多くの来場者でにぎわいました。

また、同会場内で行われた『楽しい実験』では、ペットボトルで作るプラトンボやキャップごまなど様々なものを作ったり、液体窒素にバラの花を入れて凍らせる化学実験など、盛りだくさんの内容で、子どもたちは歓声を上げながら楽しんでいました。

屋外では、星空観察会やあなたも町の学芸員講座なども行われ、星や植物、昆虫など自然のものに心も体も親しむことのできた4日間となりました。

